

《資料館便り》

平成30(2018)年
1月号

石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和49(1974)年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけのひとつです。

「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

29年度鉱物教室、閉講式 鉱物の世界を十二分に堪能



↑ 鉱物教室閉講式



↑ 講義：「鉱物の整理の仕方」



↑ 観察会（自慢の標本を顕微鏡で）

歴史民俗資料館主催の**鉱物教室**は、今年も7回にわたって実施されました。この事業は「**鉱物の町石川**」にふさわしく、広く鉱物に親しんでもらうことを目的として毎年実施しています。

1月21日には、その第7回（兼閉講式）が町公民館を会場に行われました。主催者あいさつ（矢吹重雄歴史民俗資料館長）に続き、講義「**鉱物の整理の仕方**」（山内祥行鉱物専門員）、そして、受講生それぞれが採取した鉱物標本の「**観察会**」を行いました。

講義の中では、採取鉱物の産地、日付、採取者名を確実に記録することが不可欠であり、集めた標本の混乱を防ぐ上で必ず守らなければならない最重要事項であるとの話がありました。

「**観察会**」は、今年度採取した鉱物標本を顕微鏡で観察したり、受講生同士で、それぞれの標本を「見せっこ」するなど、楽しく有意義な時間となりました。

中でも、「虫入り琥珀」の顕微鏡観察には、全員感嘆の声をあげていました。

「**受講生のみなさん、鉱物教室はいかがでしたか？**」

《「鉱物教室」今年度の活動》

- ① 5月28日 開講式・講義「石川の地質」
- ② 6月18日 鉱物採取「水晶」 郡山市
- ③ 8月20日 講演会聴講「石川町の鉱物の魅力」
長瀬敏郎先生（東北大学准教授）
- ④ 9月3日 堆積層調査・地層観察 石川町
- ⑤ 10月22日 視察研修 茨城県自然史博物館 他
- ⑥ 11月26日 鉱物採取「琥珀」 いわき市
- ⑦ 1月21日 閉講式・講義・観察会